

1. 快適に住み続けられるためのヒント

① 変化する
 ニーズへの対応

② 安全・安心 (転ばない、
 滑らない、大げがしない)

③ 使いやすさ・
 快適性

④ つながり (外出しやすい、
 訪問しやすい)

なが す つづ
 長く住み続ける
 ためには、
 いえ きほんせいのう
 家の基本性能も
 じゅうよう
 重要だよ。

うらびょう し じょうほう
 裏表紙の情報も
 さんしやう
 参照してね。



2. 家の基本性能

① 耐震性能、防災・防火性能

② 耐久性能、維持管理

(メンテナンスのしやすさなど)

③ 防犯性能

④ 省エネルギー対策 (断熱性、省資源など)

⑤ 健康 (シックハウス対策など)

なるほど!
 みんな大事な
 ヒントだね!



3. 家のつくり方—全体のポイント

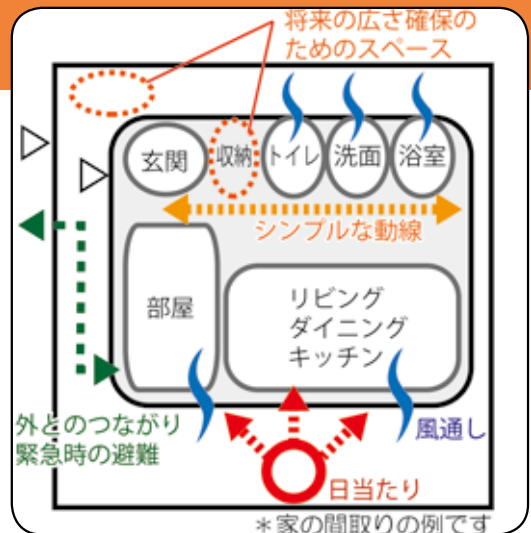
① 外とのつながり
 (通路の確保と広さ、1階床の高さ)

② 将来の改修を考えておく

③ 日当たりや風通しが良い

④ 部屋の収納が確保されている

⑤ 緊急時の安全性
 (玄関以外の避難経路の確保など)



ユニバーサルデザインのチェックリスト (例)

1. 快適に住み続けられるためのポイント		新築・購入時	将来対応
① 変化するニーズへの対応	道路から玄関までの高さ及び距離、空間を考える		
	玄関の広さを確保		
	間取りの可変性 (間仕切り壁や排水設備等)		
	シンプルな動線の間取り (寝室とトイレ・浴室が近いなど)		
	手すりを設置するための壁の下地補強		
② 安全・安心 (転ばない、滑らない、大げがしない)	転倒によるけがを防ぐ (滑りにくい床材、緩やかな階段など)		
	つまずかないための工夫 (出入口の戸の敷居、段に色をつけるなど)		
	手すりの設置又は将来の設置を考える (玄関、トイレ、浴室、階段、廊下)		
	浴室の安全性 (出入口の段差、浴槽の高さと深さ、脱衣室との温度差)		
	緊急時を知らせる呼び出しボタンなどの設置		
③ 使いやすさ・快適性	設備機器 (足元の空いている洗面台、音声案内のあるキッチンセットなど)		
	照明器具 (適度な明るさの確保、器具の交換のしやすさなど)		
	スイッチ・コンセント (手が届きやすい位置、操作しやすい形など)		
	水栓金物 (操作が楽にできるレバータイプなど)		
	建具 (引き戸などの形状、使いやすい取っ手、ガラス窓付きの戸など)		
④ つながり (外出しやすい、訪問しやすい)	家族や訪問者とのコミュニケーションがしやすい (部屋の配置、出入口の形状、モニター付きインターホンなど)		
	サービスを受け入れやすい (介護サービスなど)		
2. 家の基本性能		新築・購入時	将来対応
① 耐震性能、防災・防火性			
② 耐久性能・維持管理 (メンテナンスのしやすさなど)			
③ 防犯性能			
④ 省エネルギー対策 (断熱性、省資源など)			
⑤ 健康 (日当たり・風通し、シックハウス対策など)			



いま
今はどこに重点をおくか、
チェックリストも参考にしてね。

できている
かなあ!?

